

日本ラグビーフットボール協会 MO資格制度改正(案)

2020年2月19日

技術委員会 審判部門

目次

1. 資格制度改正の背景
2. 新資格制度
3. 資格登録・管理システム
4. 資格認定講習会の実施要領
5. 今後の展開

1. 資格制度改正の背景

スーパーラグビー、トヨタリーグでは、ラグビーの国際化と高度化が急速に進んでいる。また、RWC2019及び東京オリンピック・パラリンピックという世界規模の大会開催により、ラグビーへの関心は高まり、小学生年代のプレーヤーも増加している。

そのような変化の中にあつて、マッチオフィシヤル（以下MO）の技能向上と適切な配置は、強化、普及の両面で試合成立の根幹に関わる重要事項である。現行の日本協会MO資格制度は、日本独自のものとして、また運用に重点を置いて構築されてきた。その一方で、WR資格制度との関連性に乏しいうえ、資格認定に関する統一基準が整備されていない。

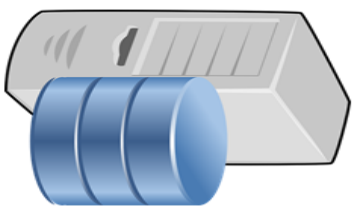
そこでJRFU戦略計画2016-2020に則り、MOの能力向上と適切な配置を目指し、MO資格制度を改正する。

2. 新資格制度

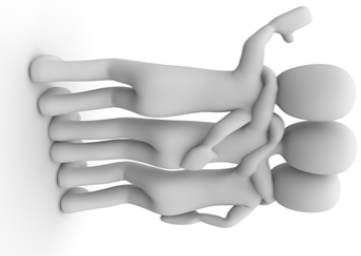
内 容

- (1) 目指す姿
- (2) 審判部門の役割
- (3) 審判部門運営の枠組み
- (4) 部門長・エデュケーター・タ・コーチの役割
- (5) MO/パスウェイ
- (6) 資格構造
- (7) 資格認定講習会カリキュラム概要
- (8) 資格認定講習会の主管協会と講師
- (9) 資格更新
- (10) 現行資格からの移行措置

(1) 目指す姿



情報登録管理システムにより全ての情報が一元管理されている。



JRFU一三支部及び都道府県協会との役割区分、連携が明確になっている。

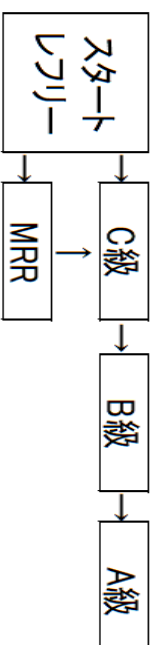
レジャー資格認定は全ての区分のレジャー及びレジャーコーチが含まれている。

レジャーコーチ(CMO)資格

WR CMO L1

WR CMO L2

MO資格



エデュケータ・トレーナー資格

WRトレーナー

JRFUデュータ

WRエデュケータ



教育体系、教育者の育成及び教材が統一されて使い易くシステム化されている。



レジャーコーチ、エデュケータが認定されている



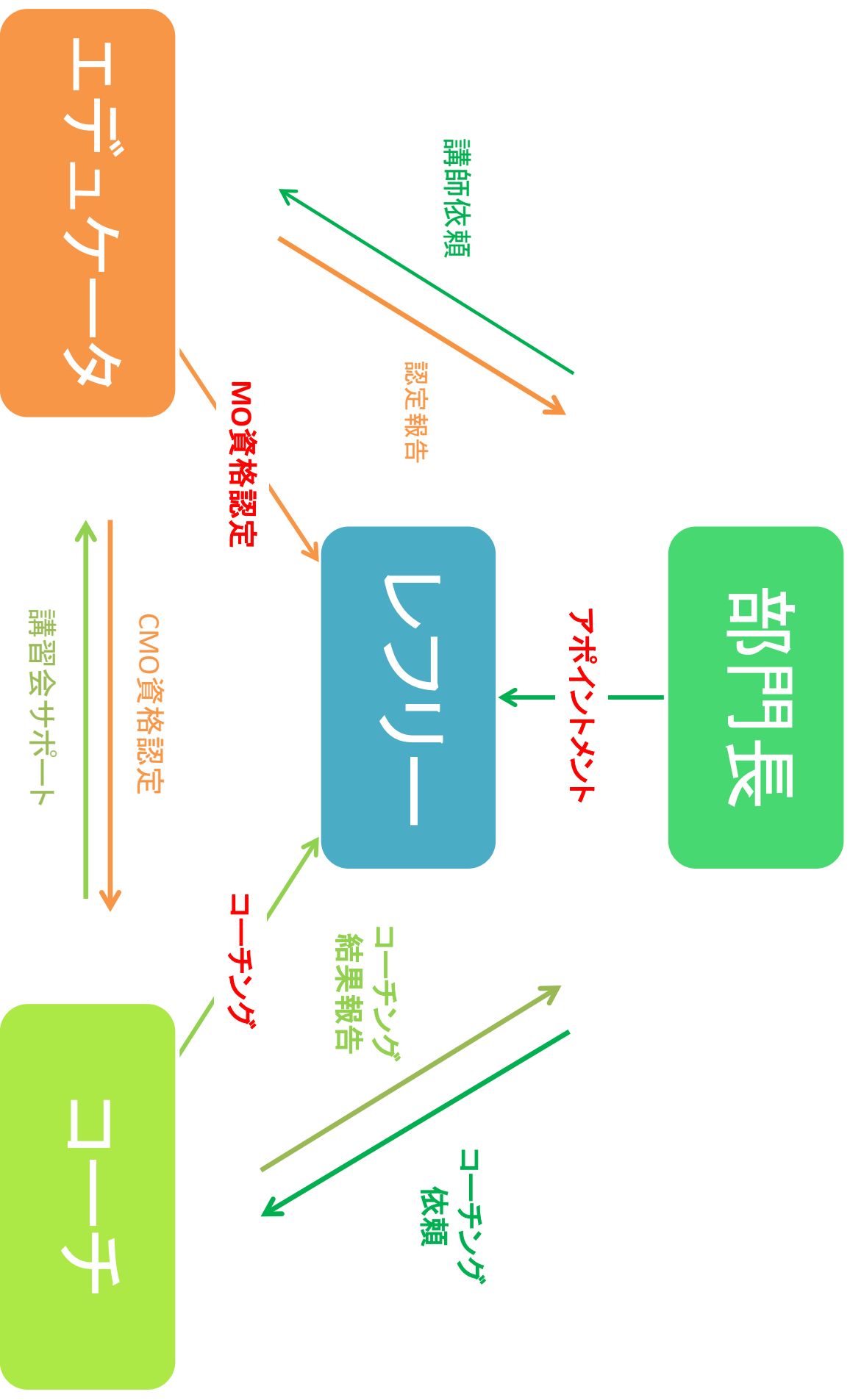
認定、更新基準が明確に設定されて登録・管理システムにインプットされている。

(2) 審判部門の役割

1. MOアポイントメント
2. MO養成
 - (1) 資格認定
 - (2) 講習会・研修会の実施
 - (3) コーチング
3. エデュケータ養成
4. リクリーコーチ(CMO)養成

(3) 審判部門運営の枠組み

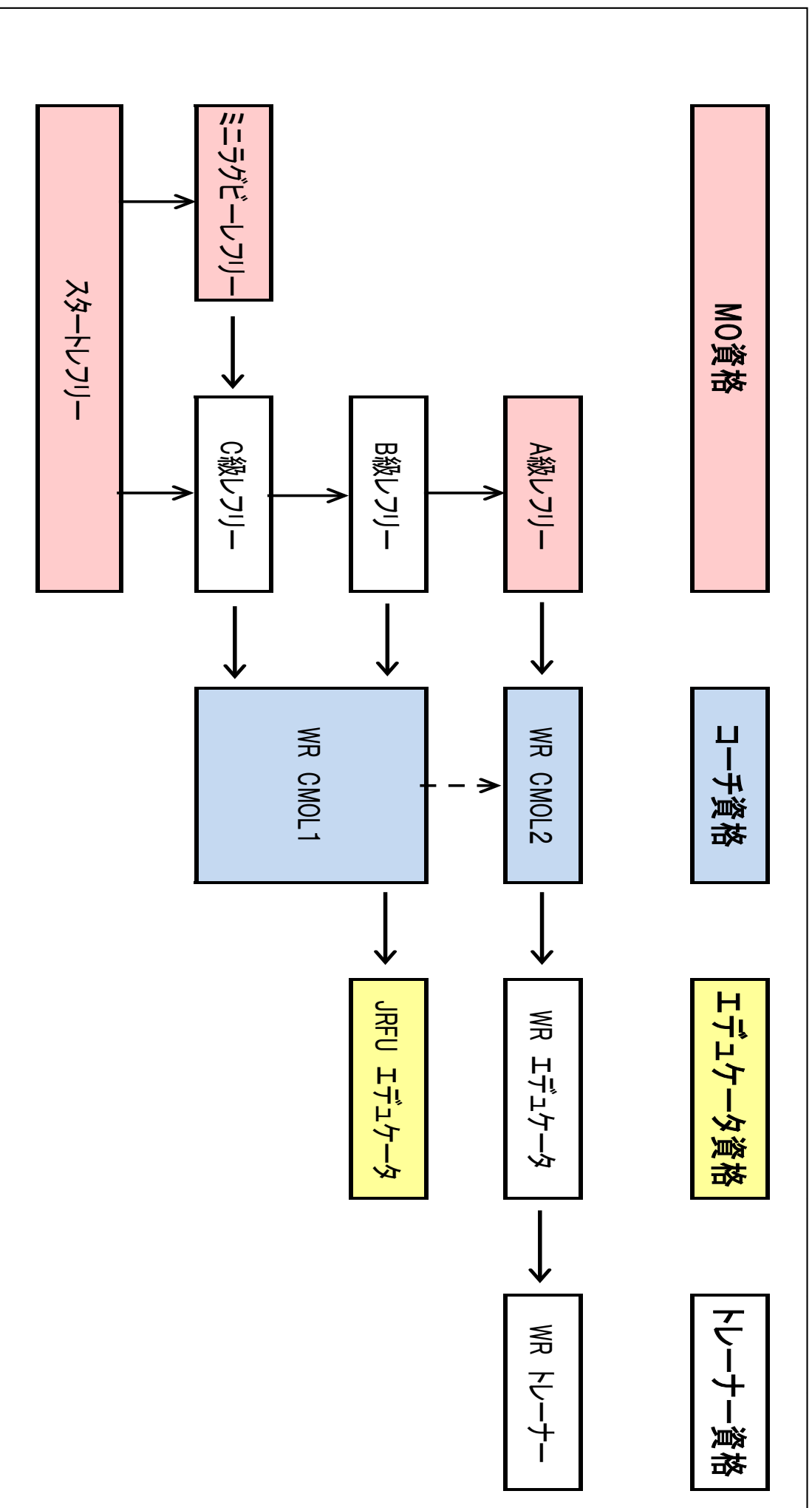
日本協会 / 三支部 / 都道府県協会



(4) 部門長・エデュケーター・コーチの役割

職名	内容
部門長	事業計画(資格認定、コーチング、アポイントメント他)立案・管理 予算計画立案・管理
	レクリーのアポイントメント
	他委員会との調整
エデュケーター	資格認定講習会運営(会場準備、講師配置、予算管理、収支報告) 教材作成・準備
	講師
	資格認定
コーチ	コーチング計画 コーチング及び記録提出 MO資格認定講習会実技評価者

(6) 資格構造



(7) 資格認定講習会のカリキュラム概要

スタートレジャー

JRFUオンライン講習 (gaccoシステム)

MRR
(ミニラグビー
レジャー)

講習会 (JRFUレリング基礎; ミニラグビーのレリング)
+ レリング実技 + WRオンライン講習

C級レジャー

講習会 (JRFUレリング基礎) + レリング実技
+ フットネスタスト + WRオンライン講習

B級レジャー

講習会 (WR MO L1) + レリング実技 + フットネスタスト +
WRオンライン講習

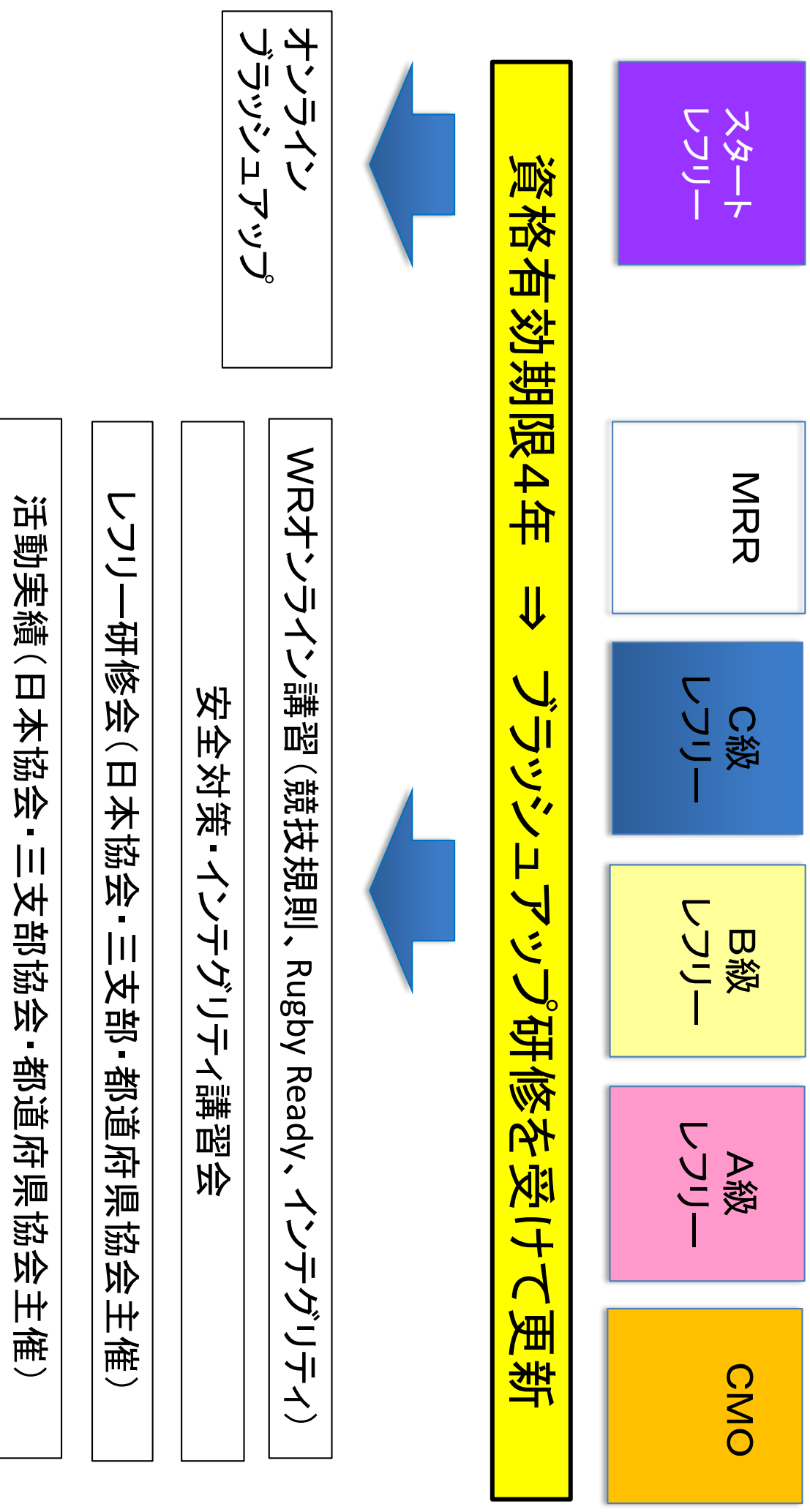
A級レジャー

講習会 (WR MO L2) + レリング実技
+ フットネスタスト + WRオンライン講習 + HP研修

(8) 資格認定講習会の主管協会と講師

資格	主管協会	講師
スタートレジャー	日本協会	—
MRR	都道府県協会	JRFUEディクータ
C級レジャー	都道府県協会	JRFUEディクータ
B級レジャー	三支部協会	WRIEディクータ
A級レジャー	日本協会	WRトレーナー WRIEディクータ
JRFUEディクータ	日本協会	WRトレーナー WRIEディクータ
WRGCMO レベル2	日本協会 三支部協会	WRトレーナー WRIEディクータ
WRGCMO レベル1	三支部協会 都道府県協会	WRIEディクータ

(9) 資格更新



(9) 資格更新

①レフリー、コーチ

○資格有効期限：4年

○更新方法

- ・スタートレフリー：JRFUオンラインコースを再受講
- ・MRR、C級、B級、A級、CMO 下記参照

No	更新項目	更新基準	備考
1	活動実績	更新調査票に活動実績を記入して提出	
2	WRオンライン講習	有効期間中の競技規則、Rugby Ready、インテグリティについてのオンライン講習修了証明書の保有	
3	安全対策・インテグリティ講習会	受講	
4	所属協会レフリー研修会	受講	

②JRFUEデュケータ

○資格有効期限：4年

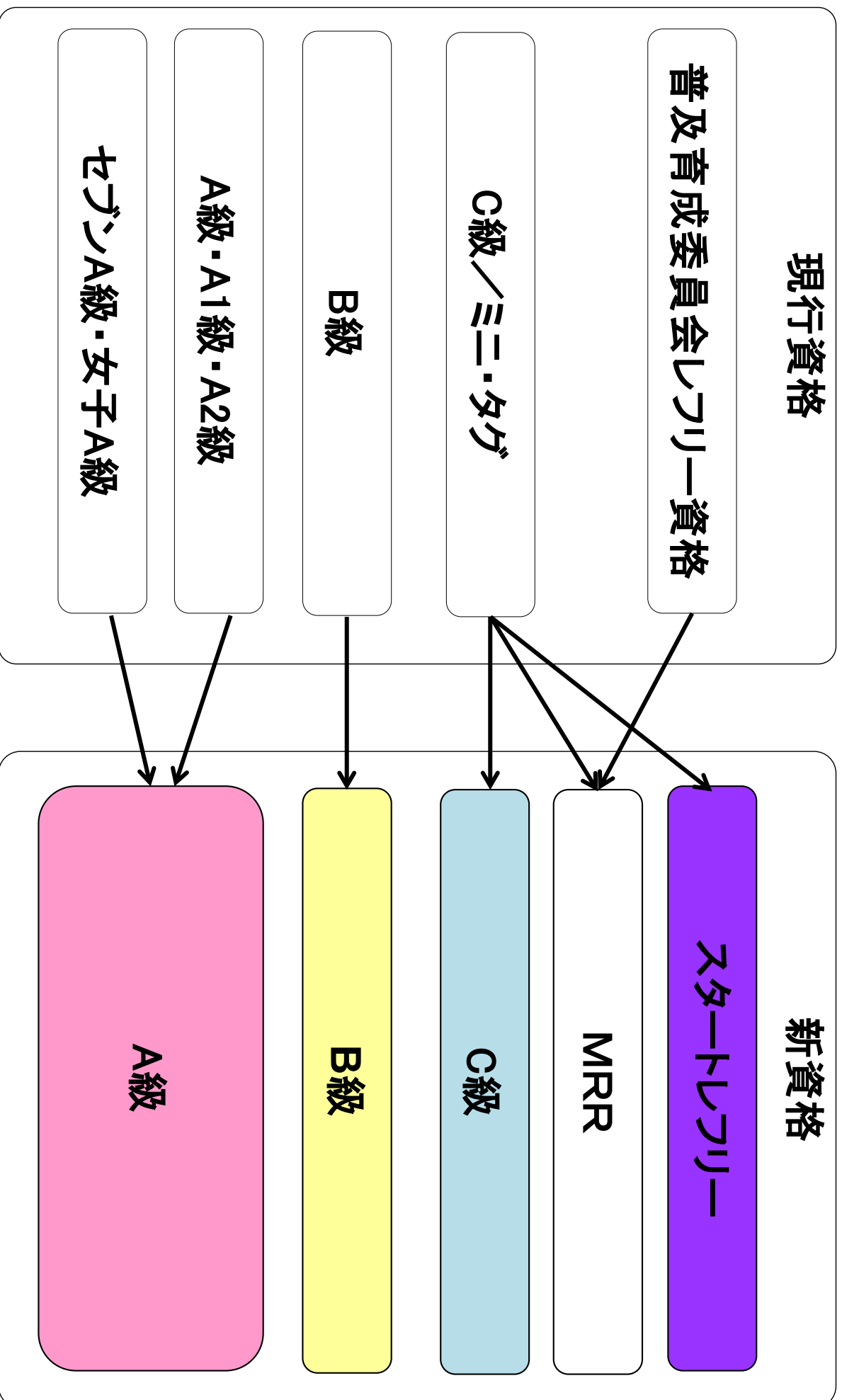
○更新方法：下表参照

No	更新項目	更新基準	備考
1	活動実績	1回／2年間のOALレポート提出及び活動評定合格	
2	WRオンライン講習	有効期間中の競技規則、Rugby Ready、インテグリティに関するオンライン講習の修了証明書保有	
3	安全対策・インテグリティ講習会	受講	
4	所属協会レクリー研修会	受講	

③WRエデュケータ、トレーナー

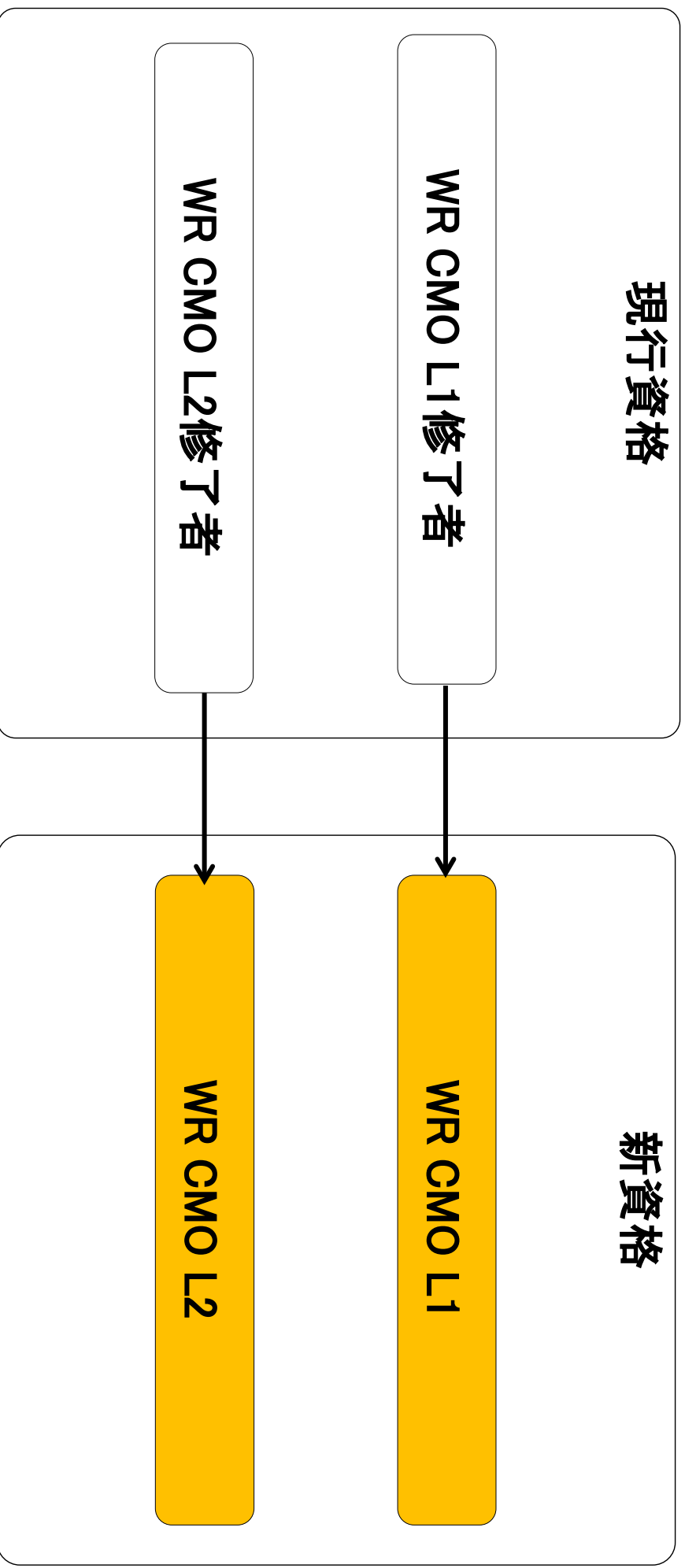
○資格有効期限、更新方法：WR規定による

(10) 移行措置(審判資格)



※移行期間を設けて資格登録移行を行う(1年間を目途とする)。

(10) 移行措置(コーチ、エデュケーター資格)



注記: 移行期間を設けて資格登録移行を行う。(1年間を目途とする)
WRエデュケーター及びビットリーダー資格は現行のままとする。

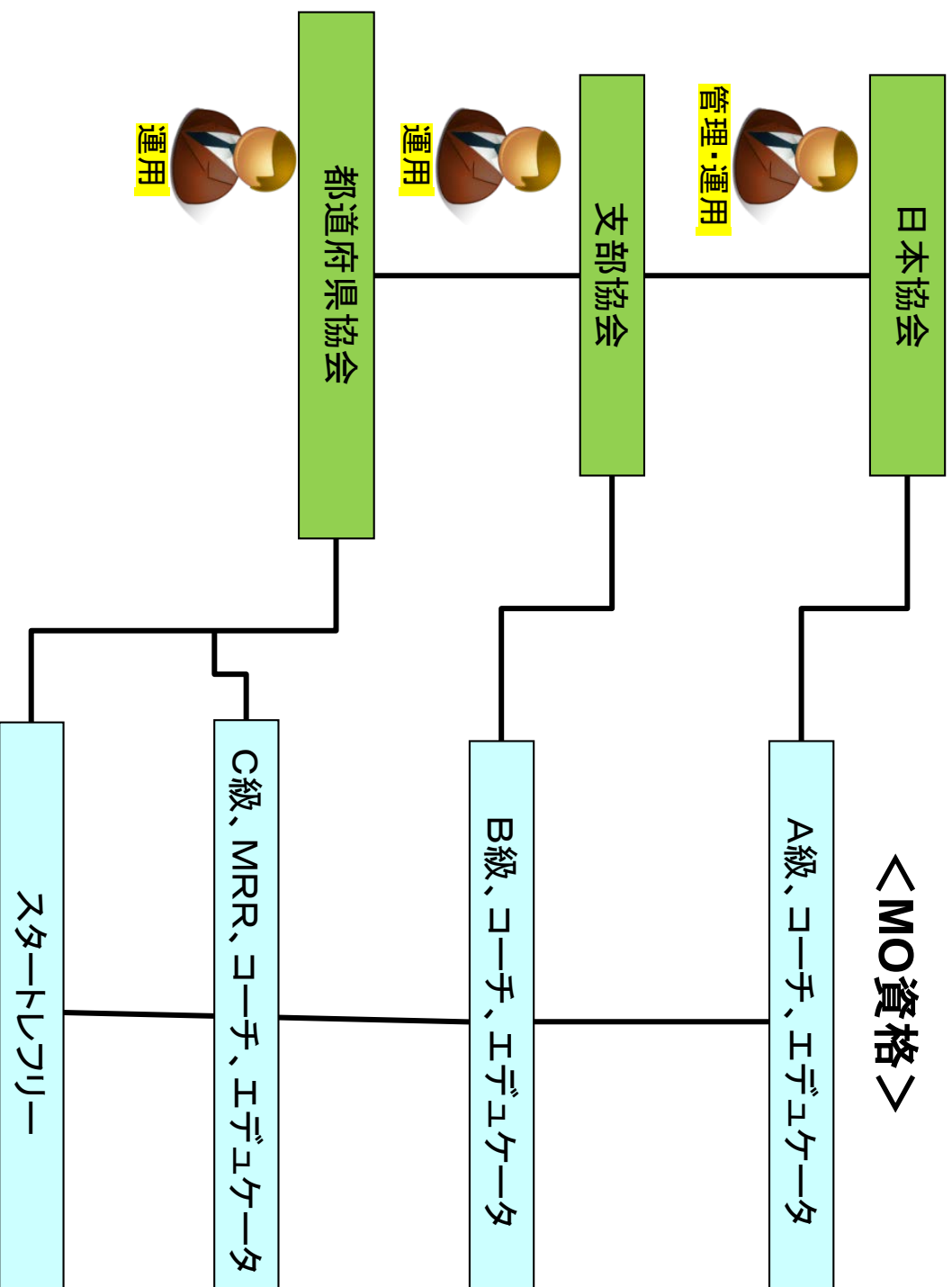
3. 資格登録・管理システム

(1) 資格の登録

- ① 登録費は、全資格一律2000円を徴収する。
- ② 登録期間は、資格有効期間とする。
- ③ 他資格取得のつど登録費を徴収する。
- ④ 登録者には資格証書配布、各種情報提供有効更新手続き案内を行う。
- ⑤ スタートコーチ資格を除く資格の登録者にはレジャー用具を配布する。

(2) 資格の管理・運用

<管理・運用>



4. 資格認定講習会の実施要領

項目

- (1) 受講から登録までのながれ
- (2) 資格認定基準等
- (3) 講習会詳細

(1) 受講から登録までの流れ

<p>スタートレジャー</p>	<p>MRRR、C級、B級、A級、CMO</p>
<pre> graph TD A[受講申し込み] --> B[オンライン学習] B --> C[資格認定] C --> D[登録] </pre>	<pre> graph TD A[受講申し込み*1] --> B[事前学習 (オンライン)] B --> C[講習会参加] C --> D[座学/実技/ フットネス*2] D --> E[評価] E --> F[資格認定] F --> G[登録] </pre> <p>*1 受講時の推薦条件 MRRR、C級：自己推薦 B級：都道府県協会MO委員会推薦 A級：日本協会、支部MO委員会推薦 CMO：日本・支部・都道府県レジャー委員会推薦</p> <p>*2 C級・B級・A級認定のみ実施</p>

(2) 資格認定基準等

	スタート	MRRR	C 級	B 級
認定基準	JRFUスタートメンバーオンライン講習を受講・修了した者。	都道府県協会が実施する認定講習会を受講して、ミニラグビー審判の技能を有すると認められた者	都道府県協会が実施する認定講習会を受講して、C級審判の技能を有すると認められた者	三支部協会が実施する認定講習会を受講して、B級審判の技能を有すると認められた者
認定条件	* オンライン講習修了	* オンライン講習修了 * 認定講習会出席 * 実技試験合格	* オンライン講習 * 認定講習会出席 * 実技試験合格 * フットネス試験合格	* オンライン講習 * 認定講習会出席 * 実技試験合格 * フットネス試験合格 * 競技規則試験合格
認定者	日本協会審判部門	JRFU エデュケーター	JRFU エデュケーター	WR エデュケーター
登録時期	随時	数回／年	数回／年	1回／年
備考	* 新設	* 新設	* 認定方法内容統一 * 登録・更新設定 * 教育推進者設定	* 認定方法内容統一 * 登録・更新設定 * 教育推進者設定

	A 級	WR CMO	JRFUEディクータ
認定基準	日本協会が実施する認定講習会を受講して、A級審判の技能を有すると認められた者	日本協会が実施する認定講習会を受講して、CMOの技能を有すると認められた者	日本協会が実施する認定講習会を受講して、エデュクータの技能を有すると認められた者
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> * オンライン講習 * 認定講習会出席 * レプリング実技合格 * フットネス合格 * 競技規則テスト合格 * HP研修会参加 	<ul style="list-style-type: none"> * 認定講習会出席 * コーチ実習試験合格 * 競技規則テスト合格 	<ul style="list-style-type: none"> * 認定講習会出席 * エデュクータ実習試験合格 * 競技規則テスト合格
認定者	WRトレーナー	WRエデュクータ	WRエデュクータ
登録時期	1回／年	適宜	適宜
備考	* 新設	* CMO資格として追加	* 新設

(3) 講習会詳細

スタートレクリー

カリキュラム	以下のオンライン講習を受講する。 (1)JRFユースタートレクリーオンライン講習 ラグビーの理解／ラグビー憲章／攻防の原則／競技規則の体系 ／レクリーの役割／マッチオフィシヤルの基礎知識
時間・日数	オンライン講習(2時間程度)
受講条件	年齢:15歳以上、ただし中学校あるいはこれに相当する学校在籍中の生徒を除く。
受講料等	受講料 なし 但し、資格認定に対して資格登録費を徴収する。
開催期間	初年度は通年(事後検討)
受講者人数	—
主催／主管	(公財)日本ラグビーフットボール協会／同審判部門

MRRR

カリキュラム	(1)WRオンライン講習(事前学習) ①RUGBY READY、②競技規則、③インテグリティ (2)認定講習会(対面講習) ①座学講習、②実技講習
時間	座学120分、実技30分以上
受講条件	年齢:満18歳以上、JRFUスタートレジャー資格を有する者
受講料等	3,000円 資格認定に対して資格登録費を徴収する。
開催頻度	都道府県協会毎に受講者数に応じて適宜開催する。
受講者人数	特に受講者数は制限しないが、都道府県協会において1回あたりの適切な受講人数を設定する。
講師	JRFUEデュータ
講師謝金	日本協会審判部門の規定による
主催/主管	(公財)日本ラグビーフットボール協会/三支部協会/都道府県協会

C級レクリー

カリキュラム	(1)WRオンライン講習(事前学習) ①RUGBY READY、②競技規則、③インテグリティ (2)認定講習会(対面講習) ①座学講習、②実技講習、③フットネステスト
時間・日数	1日
受講条件	年齢:満18歳以上、スタートレフリーもしくはMRR資格を有する者
受講料等	3,000円 資格認定に対して資格登録費を徴収する。
開催頻度	都道府県協会毎に受講者数に応じて適宜開催する
受講者人数	特に受講者数は制限しないが、都道府県協会において1回あたりの適切な受講人数を設定する。
講師	JRFUEデュータ
講師謝金	日本協会審判部門の規定による。
主催/主管	(公財)日本ラグビーフットボール協会/都道府県協会

B級レフリー

カリキュラム	(1)WRオンライン講習(事前学習) ①RUGBY READY、②競技規則、③WR Introductionコース (2)認定講習会(対面講習) ①座学講習(WR MO L1)、②実技講習、③フィットネステスト
時間・日数	2～3日間
受講条件	年齢：満18歳以上、C級レフリー資格を有する者で所属する都道府県協会から推薦された者
受講料等	5,000円 資格認定に対して資格登録費を徴収する。
開催頻度	1回／年
受講者人数	特に受講者数は制限しないが、三支部協会において、適切な受講者数を設定して実施する。
講師	WR MO エデュケーター
講師謝金	日本協会審判部門の規定による
主催／主管	(公財)日本ラグビーフットボール協会／三支部協会

A級レフリー

カリキュラム	(1)WRオンライン講習(事前学習) ①RUGBY READY、②競技規則、③Players Welfar (2)認定講習会 ①座学講習(WR MOL2)、②ハイパフォーマンス研修、 ③技量認定評価、④フットネステスト
時間・日数	5カ月
受講条件	年齢:18歳以上、B級レフリーの資格を有する者で、日本協会審判部門からの推薦もしくは三支部協会から推薦された者
受講料等	20,000円 資格認定に対して資格登録費を徴収する。
開催頻度	1回/年
受講者人数	日本協会審判部門及び三支部協会との調整によって適切な受講者数を設定する。
講師	WR MO エデュケーター/トレーナー
講師謝金	日本協会審判部門の規定による
主催/主管	(公財)日本ラグビーフットボール協会

A級レフリー認定講習会内容

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
デベロップメント部門 & 三支部協会推薦	☆						
フットネステスト	☆						
WR MO L2講習 * 注記							
ハイパフォーマンス研修							
実技評価(試合担当)							
認定審査							☆

* 注記: WR MO L2講習はハイパフォーマンス研修の中で時間を配分して実施する。

CMO(レフリーコーチ)

カリキュラム	(1)WRオンライン講習(事前学習) ①RUGBY READY、②競技規則、③Players Welfar (2)認定講習会 ①座学講習(WR CMO L1/L2)、②実技講習
時間・日数	CMO L1:1日／CMO L2:2日間
受講条件	年齢:18歳以上、 ①WR CMO L1 日本協会C級もしくはB級レフリーとして3年以上の実務経験 三支部協会・都道府県協会のレフリー委員長からの推薦 ②WR CMO L2 日本協会A級もしくはB級レフリーとして5年以上の実務経験 WR CMO L1資格 日本協会審判部門長もしくは三支部協会レフリー委員長の推薦
受講料等	CMO L1:5,000円、CMO L2:8,000円 資格認定に対して資格登録費を徴収する。
開催頻度	適宜
受講者人数	特に受講者数は制限しないが、主管協会において、適切な受講者数を設定して実施する。
講師	WR MO エデュータ／トレーナー
講師謝金	日本協会審判部門の規定による
主催／主管	(公財)日本ラグビーフットボール協会／三支部／都道府県協会

JRFUエデュケーター

カリキュラム	(1)WRオンライン講習(事前学習) ①RUGBY READY、②競技規則、③Player Welfare他 (2)認定講習会(対面講習) ①座学講習、②実技講習、③面接
時間・日数	1日 年齢:満18歳以上
受講条件	①B級として3年以上の実務経験及びCMOとして2年以上の実務経験 ②WR CMOL1以上の取得 ③所属する都道府県協会からの推薦
受講料等	5,000円 資格認定に対して資格登録費を徴収する。
開催頻度	1回/年
受講可能人数	原則として5名以上とし、受講者が多い場合には講師人数を調整の上、決定する。
講師	WR MO エデュケーター/トレーナー
講師謝金	日本協会審判部門の規定による
主催/主管	(公財)日本ラグビーフットボール協会

6. 今後の展開

(1) 資格制度改正スケジュール

	2019年												2020年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 全体スケジュール	#2WG ▼			#3WG ▼	審判部門会議 ▼				#4WG 審判部門会議 ▽	▽															
(1) スタートライン(オンラインコース)																									
(2) ミニラボ認定コース																									
(3) A級講習会(WR MO L2: 従来ベース)																									
(4) JRFUEデュータ認定講習会																									
(5) C級認定講習会(講習内容と認定基準統一)																									
(6) B級認定講習会(WR MO L1: 改訂版)																									
(7) CMO認定講習会(WR CMO L1/2: 従来ベース)																									
7. ログイン登録システム																									

(2) 本格運用と試行計画の区分

① 本格運用

以下の4コースを2020年4月から本格運用する。

* スタートレジャー

* MRR認定講習会

* A級認定講習(WRMO L2)

* JRFUEデュータ認定講習会

注記：MRRとJRFUEデュータ認定講習会は並行で進める。

② 試行コース

以下のコースの試行を2020年上期に実施する。

* C級認定講習会

* B級認定講習会 (WR MO L1)

* CMO講習会 (WR CMO L1/L2)

2020年9月～の本格運用を目指す。

MO資格制度改正に関してご理解
とご支援を賜います様宜しくお願
いします。